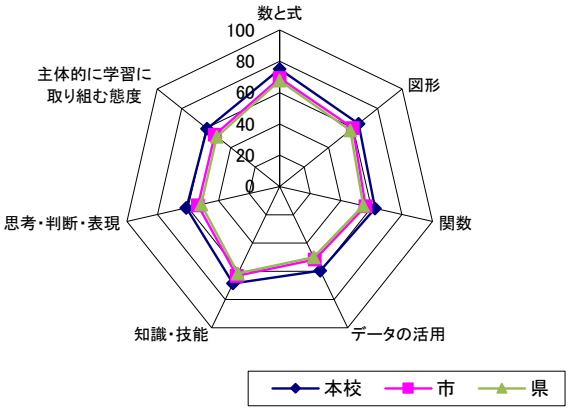
宇都宮市立豊郷中学校 第２学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	75.0	69.3	67.7
	図形	64.4	59.8	57.7
	関数	62.4	56.2	54.7
	データの活用	59.5	51.6	49.9
観点	知識・技能	68.6	63.2	61.5
	思考・判断・表現	61.1	53.5	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	59.4	53.0	51.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○平均正答率は市の平均より5.7ポイント上回った。正負の数の四則計算、1次方程式を解くことについては身についている。 ●文章題に対して、適切な1元1次方程式を立式することや数量間の関係を式に表すことに苦手意識を感じている生徒がいる。	・基本的な計算については今後も反復練習をプリントやワーク、AIドリル等で行い、計算力を上げていく。 ・数学の事象から問題を見いだし解決する活動や数学的な表現を用いて説明し伝えあう活動を積極的に取り入れていく。
図形	○平均正答率は市の平均より4.6ポイント上回った。 ●作図や球の表面積を求める式について復習が必要な生徒がいる。	・基本的な図形の概念、図形の性質や関係を理解することと、図に表したり、作図したりすることを互いに関連付けて学習していく。 ・球の表面積や体積、扇形の弧の長さや面積を苦手に感じる生徒が多いので、反復練習で定着を図る。
関数	○平均正答率は市の平均より6.2ポイント上回った。比例や反比例の関係での表や式のxの値からyの値を求めることについて理解している。 ●関数として捉える二つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察することに苦手意識を感じる生徒がいる。	・表、式、グラフを用いて関数の特徴を考察し表現する活動を取り入れていく。また、その考察したことを他者に説明する活動を多く取り入れ、関数の理解をより深めていく。
データの活用	○平均正答率は市の平均より7.9ポイント上回った。 ●示された考えが正しいことを、2つの度数折れ線から読み取った傾向をもとに、説明する問題について、課題が見られた。	・目的に応じてデータを収集し、コンピュータを用いるなどしてデータを表やグラフに整理し、テータの分布の傾向を読み取り考察することを授業で行っていく。そして、データの傾向をどう捉えたか説明する活動を取り入れていくことで情報活用力を高めていく。